訳

アメリカの教育

植民地時代の初期から，アメリカ人は教育に多大な関心を寄せてきた。最初の入植者の中には高い教育を受けた男性の割合が非常に高かった。1600年代初頭のマサチューセッツ入植地では，平均して40ないしは50家族に1人の割合で大学を卒業した男性がいた――その割合はイングランドよりもずっと高かった。そうした男性の一部――その多くはケンブリッジを卒業していた――が集まって，アメリカ独立より140年前の1636年にハーバード単科大学を創立した。1776年のアメリカ独立戦争までには，すでに9つの単科大学がマサチューセッツ植民地内に開校しており，その大半は後に総合大学になった。

マサチューセッツにおいて最初に入植が行われてからの30年間に，すべての町が，校長を公費で雇うように義務づけられた。他の入植地でも無償の公立学校の準備がなされた。たとえば，17世紀を通じて多くの場所で無償の学校が設立された。1787年，大陸会議はすべての新しい町に対し，公立学校用に1区画の土地を用意するように求めた。1900年までには，合衆国には1千近い高等教育機関ができた。その中には法科大学（法学部）や医科大学（医学部），そして何百という小さな4年制の教養大学が含まれていた。後者の1つで，1837年にオハイオ州で創立されたオバーリン単科大学は，男性と対等な基準で女性の入学を認めた最初の大学だった。

今日，およそ4千3百万人の児童生徒が公立の小学校や中・高等学校に通っている。公立校は学費が不要で，学校の運営資金は地方税や州税に頼っている。そして他の6百万人の児童生徒は私立校に通っているが，それは親が学費を払う。私立学校5校のうち4校は宗教団体によって運営されており，そこでは宗教的な教えがカリキュラムの一部になっている。ホーム・スクーリング（自宅学習）として知られている方法で，自分の子供を家庭で教える親も少数ではあるがいて，その数は増えつつある。毎年，およそ1千2百万人のアメリカ人が3千超のあらゆる種類の単科大学や総合大学に入学する。80％近くの大学生が公立校に通うが，20％強の学生は私立の大学に入学する。初期に教育を重視した姿勢が今日もなお残っているのである。国連の数字（1980年）によれば，1人当たりの教育に費やされる金額において，合衆国は世界で第9位である。

(1)　**正解　2**

訳　だれがハーバード単科大学を創立しましたか。

1　多くのケンブリッジ（大学）卒業生。
2　**大学を卒業した一部の男性。**
3　マサチューセッツ州で教育を受けた数人の最初の入植者。
4　教育に多大な関心を持っている多くのアメリカ人。